

提供日 2026/10/07
タイトル 港湾を核とした海上支援ネットワークの形成に向けた取組の推進
～県内9港湾・18岸壁(棧橋)が国土交通大臣から支援ふ頭の指定を受けました～
担当 交通基盤部 港湾局港湾整備課
連絡先 港湾整備班
TEL 054-221-2615



港湾を核とした海上支援ネットワークの形成に向けた取組の推進

～県内9港湾・18岸壁(棧橋)が国土交通大臣から支援ふ頭の指定を受けました～

静岡県が、国土交通省に申請した海上支援ネットワークを構成する広域支援ふ頭及び地域支援ふ頭の指定について、全国に先駆け、本日付けで指定を受けました。

(国のプレスリリース)

<https://www.mlit.go.jp/kowan/news.html>

1 背景と目的

～被災地の迅速な支援に備え、「海からの支援ルート」を確保～

令和6年能登半島地震では、道路の寸断等により陸路からの支援が困難となる中、海上からの支援輸送の重要性が改めて認識されました。

本県では、「海上支援ネットワーク」の形成に向け、本年3月、「静岡県広域港湾BCP」を策定し、県内の港湾が連携して被災地を海上から支援する体制を整理しており、この取組を推進するため、「指定広域支援ふ頭及び指定地域支援ふ頭の指定基準」に基づき、国に指定申請を行いました。

2 指定に伴う効果(メリット)

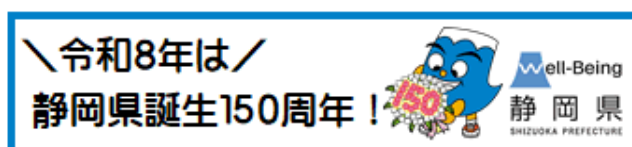
～発災後の港湾施設の利用可否判断を迅速化～

能登半島地震では、支援船舶が着岸する岸壁の損傷程度が分からず、現地調査から利用可否の判断までに約2週間を要し、初動対応に時間を要することが課題となりました。

今般、国の指定を受けたことにより、国の補助制度を活用し、地域支援ふ頭を構成する岸壁等を対象に事前解析を進めます。想定される地震動による岸壁等の変位量や損傷の程度をあらかじめ予測・評価し、災害発生後の迅速な利用可否判断につなげます。

(静岡県広域港湾BCP)

<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kowan/1003579/1083018.html>



(別紙)伊豆半島の被災地支援のための海上支援ネットワーク

凡例 黒字 :指定するふ頭と主たる耐震強化岸壁

青字 :うち、事前数値解析の支援対象

